

産廃いわて

2012-05 平成24年8月3日発行

かわらばん

社団法人 岩手県産業廃棄物協会

〒020-0023 盛岡市内丸 16-15 内丸ビル 5F

URL: <http://www.iwatesanpai.or.jp>

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920



排出事業者等説明会

今年度の排出事業者等説明会開催日が決まりました。
今回は建設業の方々が対象になります。

また、産業廃棄物処理業者の方も対象になっていますので、是非ご参加ください。日程等は次のとおりです。

13:30 受付開始 説明会 14:00～16:00

9/25(火)あえりあ遠野

9/26(水)リアスホール(大船渡市)

10/2(火)二戸市民文化会館

10/3(水)アンバーホール(久慈市)

10/15(月)県釜石地区合同庁舎

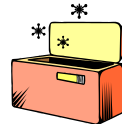
10/16(火)陸中ビル(宮古市)

11/2(金)盛岡市民文化ホール

11/7(水)Zホール(奥州市)

11/9(金)一関文化センター

11/14(水)さくらホール(北上市)



フロン回収制度見直し

フロン回収・破壊法の制度の見直しが検討されています。経産省と環境省は合同の有識者会議を開き、フロン類の所有状況の報告を義務化すること、含有機器所有者の定期点検等の報告を義務化すること、行程管理制度の対象をフロン類破壊業者への引渡し時まで拡大すること、解体工事の発注者への事前説明に関する確認書を3年程度保管することなどが検討されています。この動きの背景には、回収されるフロン類が約3割にとどまっていたり、使用中の冷媒フロン類の漏えいが想定よりも大きいことなどの問題があるようです。



がれきの処理

災害廃棄物の広域処理がなかなか進みません。これまでに実現した受入れの動きは次のとおりです。

青森県	久慈市、洋野町、野田村から
秋田県	宮古市から
山形県	釜石市から
群馬県	宮古市、山田町から
東京都	宮古市から
静岡県	山田町から

なお、沿岸の会員の多くは忙しくなっているようですが、内陸の一部の会員も災害廃棄物の破碎処理などを頼まれるようになってきたとのことです。

会員へのアンケートの結果では、災害廃棄物処理業務(運搬、分別、処理、解体等)を行っているか又は行っていた割合が45パーセント(回答率76パーセント)でした。



除染電離則改正

除染電離則が改正され、汚染土壌を扱う類似の作業などに適用範囲が拡大されました。具体的には伐木、枝打ち、草刈り、農地の耕起、表土の剥ぎ取り、土砂・草木・瓦礫などの掘削・除去・撤去・運搬、汚染土壌等の収集・運搬・保管、屋根・外壁・コンクリート・アスファルトなどの洗浄・剥ぎ取り、削り取り、建築物・工作物の解体、汚染された土壌・工作物などの被覆などが対象になります。線量測定、従事者教育、健康診断などの被ばく線量管理が義務づけられます。



放射能基準の意味

放射性セシウム濃度の基準が分かりにくいとの声があります。環境省では「100 ベクレル/kg以下」は再利用できる基準、「8,000 ベクレル/kg以下」は通常の産業廃棄物として処理できる基準であり、ダブルスタンダードではないとし、改めて4月17日にこの基準が告示されました。

「100 ベクレル/kg以下」はコンクリートを建築資材に、金属をベンチなどに再利用しても安全な基準で、原子炉等規制法でも定められています。

一方、「8,000 ベクレル/kg以下」は安全に焼却、埋立て処理ができる基準で、放射性物質汚染対処特別措置法で定められています。



災害廃棄物を再生資材に

環境省は5月25日、東日本大震災からの復旧復興のための公共工事で、津波堆積物や瓦くずなどの災害廃棄物を再生資材として活用する場合の取扱いについて通知しました。県や市などが一定の要件を満たすと確認すれば廃棄物とならず、再生資材として活用できるということです。

一定の要件とは、
災害廃棄物を分別又は中間処理したものであること、
有害物質を含まないものであること
飛散流出など環境保全上の支障のおそれがないこと
復旧復興工事で確実に活用されること
構造や耐力上の安全性等の品質を満たすこと
種類・用途・活用場所等が記録・保存されること
の6項目です。

対象地域は、青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉、新潟、長野の9県です。



きのこ原木の放射性物質基準

林野庁ではきのこ原木及び菌床用培地の安全基準として当面の指標値(きのこ原木及び菌床用培地 150 ベクレル/kg)を設定していましたが、新たな知見に基づき次のように指標値(放射性セシウムの濃度の最

大値)を改正し3月28日に都道府県及び関係団体に対して通知しています。

きのこ原木・ほだ木 50 ベクレル/kg(乾重量)
菌床用培地・菌床 200 ベクレル/kg(乾重量)



労働科学研究所調査

福島県南相馬市の公園で表土の剥ぎ取り作業が試験的に行われ、落ち葉処理作業、公園遊具・敷地内設置物の清掃、土壌の表土剥ぎ作業において測定された粉じんの平均濃度はそれぞれ、0.56mg/立米、2.40mg/立米、0.29mg/立米であることが分かりました。労働科学研究所では除染作業には保護マスクが必要との見解で注意を呼びかけています。



昇華転写紙混入厳禁

再生紙の原料となる古紙に、昇華転写紙を混入しないように注意してください。アイロンプリントやぼり旗などを製作する際、布地に転写する目的で使用されています。これが紙原料に混入した場合、時間の経過と共に再生紙の表面に色斑点が発生し、全判サイズの捺染紙1枚が混入すると、100トンもの再生紙が損紙となり、大きなトラブルの原因となります。使用済みの昇華転写紙は、カバンや靴などの詰物に多く使われていますので要注意です。



事務局便り

【会員の方へお願い】

8月13日(月)から16日(木)は盛岡市内丸の事務局が休みになります。ご了承ください。

協会費の納入期限が今月末までとなっております。お支払いいただいていない会員の方は期日までに納入をお願いいたします。

編集後記

夏祭りの季節です。皆様のパワーが東北の復興につながるよう祈っております。

皆様にタイムリーな情報を提供できるように頑張ります。